

問1 板垣退助らが政府に対して批判した、一部の特権層が政治を独占する状態を何という？

1. 廃藩置県 2. 大政奉還 3. 有司専制 4. 版籍奉還

問2 下関条約で日本が清から割譲されたものの、三国干渉により返還を余儀なくされた場所はどこ？

1. 台湾 2. 朝鮮半島 3. 澎湖諸島 4. 遼東半島

問3 立憲改進黨とともに、自由民権運動を推進した板垣退助が結成した政党を何という？

1. 自由党 2. 立憲帝政党 3. 立憲改進黨 4. 東洋自由党

問4 明治時代、八幡製鉄所の建設や日本の重工業発展の基盤となった、戦争の勝利によって得た資金を何という？

1. 特別会計 2. 賠償金 3. 関税収入 4. 租税収入

問5 八幡製鉄所が鉄鉱石の調達先としていた国はどこ？

1. 朝鮮民主主義人民共和国 2. 中国 3. モンゴル 4. 大韓民国

問6 帝国議会における二院制のうち、国民の代表として選挙で選ばれた側の議院を何という？

1. 枢密院 2. 衆議院 3. 貴族院 4. 参議院

問7 工業化の進展によって都市への人口集中が進んだ際、都市の環境を整えるために整備された、衛生的な生活を支えるための設備を何という？

1. 国立銀行 2. 上下水道 3. 電信線 4. 郵便制度

問8 明治政府が設立し、当初は日本画が中心でしたが、後に西洋画の教育も取り入れるようになった美術教育機関を何という？

1. 東京外国語学校 2. 東京物理学校 3. 工部美術学校 4. 東京美術学校

問9 明治時代、群馬県に建てられ、海外輸出用の生糸を生産した最初の官営模範工場を何という？

1. 深川セメント製造所 2. 官営八幡製鉄所 3. 品川硝子製造所 4. 富岡製糸場

問10 明治政府が、欧米諸国に追いつくために掲げた、国力を高めて軍備を強くするという政策を何という？

1. 殖産興業 2. 廃藩置県 3. 文明開化 4. 富国強兵

問11 明治時代に日本の主要な輸出品となり、アメリカへの輸出で近代化を支えた繊維製品は何？

1. 石炭 2. 生糸 3. 綿糸 4. 茶

問12 1875年、日本が朝鮮の開国を迫るために沿岸へ派遣した軍艦を何という？

1. 高崎丸 2. 軍艦雲揚 3. 咸臨丸 4. 開陽丸

問13 1889年に制定され、衆議院議員の選出方法を定めた最初の法律を何という？

1. 衆議院議員選挙法 2. 地方自治法 3. 衆議院議員通常選挙法 4. 参議院議員選挙法

問14 明治時代に、日本の伝統的な美術を継承し、新しい芸術を育てるために設立された学校を何という？

1. 東京美術学校 2. 慶應義塾 3. 東京専門学校 4. 東京大学

問15 大日本帝国憲法下において、帝国議会などが担った国の法律を作る働きを何という？

1. 司法 2. 軍令 3. 行政 4. 立法

答え合わせ・解説

問1	答え 3 有司専制	板垣退助らは、明治政府が少数の特定勢力によって独占されているとして「有司専制」と呼び批判しました。彼らは、国民の声を政治に反映させるために民選議院（選挙で選ばれた議員による議会）の開設が必要だと主張しました。
問2	答え 4 遼東半島	しかし、この地の支配を警戒したロシアは、ドイツ・フランスを誘って日本に清への返還を要求しました。これが三国干渉です。軍事的に不利な状況にあった日本は、この要求を受け入れて返還しました。
問3	答え 1 自由党	板垣退助は1881年に国会開設を求める運動の中で、日本初の政党である自由党を結成しました。立憲改進黨が知識層を中心に支持されたのに対し、自由党は農村の地主や農民層に強く支持され、自由民権運動を強力に推進しました。
問4	答え 2 賠償金	1895年の日清戦争に勝利した日本は、清から多額の賠償金を得ました。政府はこの賠償金を八幡製鉄所の建設費や、軍備の増強に充て、重工業を発展させるための資本としました。
問5	答え 2 中国	八幡製鉄所は、当時の清（中国）にある大冶鉄山などから鉄鉱石を調達しました。地理的に距離が近く、海上輸送が容易であったため、安定した原料供給体制を整えることができました。これにより、日本の製鉄業は順調に生産量を伸ばすことができました。
問6	答え 2 衆議院	二院制のうち、衆議院は国民の選挙権を持つ人々の投票によって選ばれた議員で構成されました。これに対し、貴族院は華族や勅任議員で構成され、国民の直接的な選択とは異なる形で設置されました。
問7	答え 2 上下水道	人々の健康を守り、伝染病を防ぐために、清潔な水を供給する上水道と、汚れた水を処理する下水道の整備が進められました。これにより都市の環境が改善され、近代都市としての社会基盤が整えられました。
問8	答え 4 東京美術学校	東京美術学校は、岡倉天心らの尽力により設立されました。初期は日本画を中心に教育していましたが、時代のニーズに合わせて西洋画の学科も設置され、日本美術と西洋美術を同時に学べる環境が整えられました。
問9	答え 4 富岡製糸場	1872年、政府は群馬県に富岡製糸場を建設しました。フランスから技術者を招き、最新の繰糸機を導入して高品質な生糸の大量生産を行いました。全国から工女が集められ、ここで学んだ技術が各地の製糸工場へ伝えられました。
問10	答え 4 富国強兵	「富国」は産業を育成して経済を豊かにすること、「強兵」は近代的な軍隊を組織して防衛力を強化することです。政府はこのスローガンのもと、殖産興業や学制の整備、徴兵令の施行などを強力に推し進めました。
問11	答え 2 生糸	製糸工場で生産された生糸は、アメリカなどの欧米諸国で需要が高く、日本の主要な輸出品となりました。この輸出で得られた資金が、工場や軍の整備など、日本の近代化のための莫大な費用を支えました。
問12	答え 2 軍艦雲揚	1875年、日本は「軍艦雲揚」を朝鮮の沿岸に派遣し、測量という名目で挑発行為を行いました。これに対して朝鮮側が砲撃したことを口実として、日本は武力を背景に交渉を迫りました（江華島事件）。
問13	答え 1 衆議院議員選挙法	この法律では、満25歳以上の男子で、直接国税を15円以上納める者にのみ選挙権が与えられました。当時の有権者は人口の1%程度に限られていました。
問14	答え 1 東京美術学校	岡倉天心やアーネスト・フェノロサの協力のもと、1887年に東京美術学校が設立されました。ここでは日本の伝統的な日本画の技法を学びつつ、新しい時代の表現を模索する指導が行われました。
問15	答え 4 立法	大日本帝国憲法下では、立法権は天皇に属し、その協力機関として帝国議院が設置されました。議会は法律の案を審議・承認することで、国家の仕組みやルールを整備する役割を担いました。